

第4課 指導案

第4課「これはシューマイですか？」

<調べ学習>

中華料理の名前を、中国語で何というか調べてみよう。

全2時間の第1時間目 (20-p)

	項目	指導例と留意点	指示の例
導 入 10 分	挨拶・点呼	授業開始の挨拶をし、出席をとる。	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。”
	到達目標の確認 第4課の単元目標	第4課のポイントを簡単に紹介する。 ★ 発音編がこの課で終了することを意識させる。 ★ テーマを板書する。「これはシューマイですか？」 ★ 到達目標を配布する ★ この課のポイントが、指示代詞を学習することに注意を向ける。	今日から第4課を学習します。 到達目標のプリントを見てください。 詳しく発音を取り上げて勉強するのは、この課までです。 食べ物や身近なことばを勉強していきます。 また、指示代詞の「これ」「それ」「あれ」を使った表現を勉強します。
	本時の目標	本時の学習ポイントを簡単に紹介する。 ★ 中華料理の名前 ★ “z” “c” “s” で始まる音 既習語句を例示したり、生徒に思い出させるのもよい。 例：“字” “词” “四” (第1課) など ★ 指示代詞 (これ) ★ 簡体字と日本語の漢字との違い	今日は、中華料理の名前を勉強します。 また、“z” “c” “s” で始まる音を取り上げます。 近くにあるものを指す「これ」を使った表現を勉強します。 簡体字と日本語の漢字との違いについても勉強します。
	キーワードの学習 ● 巻末の語いリストを見て書きましょう。	● 巻末の語いリストを見て書きましょう。(20p) ピンインの空白箇所と () 内に日本語の意味を記入させる。	教科書 20 ページを開けてください。 では、76 ページからの語いリストを見て、 <input type="text"/> にはアルファベットを書き入れてピンインを完成させましょう。ピンク色の <input type="text"/> には、声調符号が入ります。 () には、日本語訳を書き入れましょう。

<p>導 入 10 分</p>	<p>簡体字の学習</p> <p>● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>板書して、ピンインと意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 生徒にピンインを板書させ、チェックするのもよい。 ★ 机間巡視し、必要に応じて支援する。 <p>教師用CD 36を流す。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 <p>● 気をつけて書きましょう。(20p)</p> <p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 <p>“烧”（燒）の旁が日本語とは異なることに気づかせる。</p> <p>“卖”（売・賣）</p> <p>“笼”（籠）の「龍」が日本語とは異なることにも気づかせる。</p> <p>“包”（包）最後の1画の始まりが日本語とは違うことに気づかせる。</p> <p>“饺”（餃）「食偏」が日本語とは異なることに気づかせる。</p>	<p>では、正しく書けているかを板書で確認しましょう。</p> <p>記入に間違いがないかをチェックしましょう。間違っている箇所は訂正しましょう。</p> <p>ピンインと意味が確認できたので、次は発音を練習しましょう。</p> <p>まずは、CDに続いて発音してみましょう。</p> <p>次は、私の後に続いて練習しましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。</p> <p>“烧”の漢字をよく見ましょう。右側の上の部分「戈」に似ていますが、最後の点がありません。その下は「元」という字に似ていますが、横画が1本少ないですね。</p> <p>“卖”を見てください。「十」のあとは「冫冠」のようですが、左側には点はありません。気をつけましょう。次に点をふたつ、縦に並べて書きます。</p> <p>“笼”の漢字を見てください。「竹冠」の下は「龍」という文字が簡略化されたものです。カタカナの「ナ」の次にカタカナの「ヒ」に似ていますが、斜めの線が突き抜けています。最後に点を忘れないように書きましょう。</p> <p>“包”の漢字を見てください。画数も形も日本語と同じですが、最後の1画の始まりが、日本語よりも上ですね。</p> <p>“饺”を見てください。左側は「食偏」で、3画に簡略化されています。</p>
----------------------------------	-------------------------------------	--	--

展 開 1 15 分	<p>声調符号の書き取り練習</p> <p>● 1 声調符号を書き取り、 言ってみましょう。</p> <p>“z” “c” “s” で始まる音の練習</p> <p>● 2 ピンインに注意して 言ってみましょう。</p>	<p>● 1 声調符号を書き取り、言ってみましょう。(21p) 教師用CD 37を流す。</p> <p>ゆっくり音読する。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>正解を板書する。 ★ 声調符号がついているのは“a” “o” “e” “i” “u”であることを確認させる。</p> <p>意味を確認する。 ★ 日本でも馴染み深い中華料理について、名前の付け方や読み方を理解する。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>● 2 ピンインに注意して言ってみましょう。</p> <p>教師用CD 38を流す。</p>	<p>今から、CDを流します。4つの中華料理名の声調符号を書き取ってみましょう。 声調符号は、ピンク色のアルファベットにつけましょう。 どうですか。書き取れましたか。 今度は私が発音しますので、もう一度聞いてみましょう。</p> <p>では、正しく書けているかを確認しましょう。 書き間違いがないかをチェックしましょう。間違っている箇所は訂正しましょう。</p> <p>中華料理は名前からどんな料理かわかることがあります。使っている材料、調理法、切り方、味付けなどが料理名に含まれているからです。 “青椒肉絲”は、“青椒”はピーマン、“肉”は豚肉、“絲”は細切りを表しています。「チンジャオロースー」「ピーマンと豚肉の細切り炒め」ですね。 “回鍋肉”の“回鍋”は調理したものを鍋に戻して温めなおすという調理法、“肉”は豚肉なので、“回鍋肉”はゆでた豚肉を鍋に戻して炒める料理、「ホイコーロー」です。 “包子”は「(中に具の入った) 中華まんじゅう」です。 “杏仁豆腐”は、「アンニン豆腐」ですね。</p> <p>意味が確認できたので、発音を練習しましょう。 私の後に続いて発音してみましょう。</p> <p>“z” “c” “s” で始まる音、詳しく発音を取り上げるのはこれで最後です。 第3課では「そり舌音」と呼ばれる“zh” “ch” “sh” “r” で始まる音を勉強しましたね。今日は表記上よく似ていますが、発音の仕方が全く違います。</p> <p>まずはCDを聴いてみましょう。</p>
--	---	---	--

<p>展</p> <p>開</p> <p>1</p> <p>15分</p>	<p>発音の練習</p> <p>● 3料理名を言ってみましょう。</p> <p>簡体字の学習</p> <p>● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>★ “z” “c” “s” を発音するときの舌の位置などをしっかり覚えるよう留意する。</p> <p>★ “z” “c” “s” につく “i” も、「イ」とは読まないことに留意する。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <p>★ ゆっくり、はっきり発音する。</p> <p>★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>● 3料理名を言ってみましょう。(21p)</p> <p>意味を確認する。</p> <p>★ 絵カードを用意して提示するのもよい。</p> <p>★ 生徒に読ませたり、意味を発表させるのもよい。</p> <p>教師用CD39を流す。</p> <p>★ CDのスピードが速いようであれば、教師がゆっくり、はっきり発音する。</p> <p>★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>● 気をつけて書きましょう。(21p)</p> <p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <p>★ 間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。</p> <p>★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。</p> <p>“头” (頭) の2つの点が縦に並んでいることに気づかせる。</p> <p>“炒” (炒) の旁「少」の1画目が日本語とは違うことに気づかせる。</p> <p>“饭” (飯) 「食偏」が日本語とは異なることに気づかせる。</p> <p>“汤” (湯) の右側「易」が日本語とは違うことに気づかせる。</p>	<p>摩擦したような音が聞こえましたか。</p> <p>舌の前の部分を、下の歯と歯茎に押しあててから発音する音です。これも日本語にはない発音ですね。</p> <p>では発音練習をしてみましょう。</p> <p>まず、それぞれの1つ目、“i” のつくことばを練習しましょう。どれも、口角を左右にひいて発音します。</p> <p>“字” は、力まずに「ズー」、 “词” は、勢いよく「ツー」、 “四” は、「スー」と発音します。</p> <p>“zi” “ci” “si” をそれぞれ、「ズー」「ツー」「スー」と覚えておくといいでしょう。(その他のことばは、発音指導例参照)</p> <p>さあ、1に続いて中華料理の名前を勉強しましょう。</p> <p>“麻婆豆腐”、みなさんよく知っている「マーボー豆腐」ですね。</p> <p>“炒饭”、これは「焼き飯」「チャーハン」です。</p> <p>“汤面”、これは「タンメン」「汁そば」です。</p> <p>“干烧虾仁”、“干烧” はチリソース煮、“虾仁” はエビのむき身で、「エビチリ」ですね。</p> <p>それでは、発音してみましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。</p> <p>“头” は「頭」の簡体字です。2つの点は縦に並べましょう。また最後の1画は止めます。</p> <p>“炒” を見てください。旁の「少」の1画目ははねません。</p> <p>“饭” の漢字を見てください。「食偏」は3画で書きます。また、旁の「反」の1画目はカタカナの「ノ」のように、右上から斜めに書きます。</p> <p>“汤” は「湯」の簡体字です。4画目はひと筆で書きましょう。</p>
---------------------------------------	--	---	---

展 開 2 20 分	<p>会話文1の練習</p> <p>● これはシューマイですか。</p>	<p>● これはシューマイですか。(22p)</p> <p>会話の場面を紹介する。</p> <p>教師用CD40を流す。 イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。</p> <p>内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 既習の“是…吗?”、“这是…”を理解しているか確認する。 ★ “这”が「空間的に近いもの」を指していることを確認させる。 ★ “…吗?”は諸否(yes-no)疑問文であることを確認させる。 ★ “好吃”の前には、意味を訳さない“很”(第5課)をつける。 ★ 大まかな内容を把握できたか。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 <ul style="list-style-type: none"> ・寺本さんはせいろの中を指して、何と言っていましたか。 ・李さんは何と答えていましたか。 ・寺本さんは次にどんな質問をしましたか。 <p>発音の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場면을想像し、感情を込めて読めるように留意する。 <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 2～3組に発表させてもよい。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。 	<p>22ページを見てください。 今回は寺本さんと李さんが、せいろの中を指して会話をしていますね。では、ふたりがどんな会話をしているのか聴いてみましょう。</p> <p>どうですか?どんな話をしていたか、わかりましたか? 第2課で“是…吗?”、第3課で“这是…”という表現を勉強しましたね。覚えていますか。 “这”は近くにいる人を指していましたね。今回は人ではなく、モノを指していますね。 “是…吗?”は、イエスカノーかを尋ねる疑問文でしたね。</p> <p>では、意味を確認しましょう。 寺本「これはシューマイですか?」 李「いいえ、これはショーロンポーです。」 寺本「おいしいですか?」 李「おいしいですよ。ちょっと食べてみて。」</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p> <p>では、隣の人と対話練習してみましょう。役割を変えても練習しましょう。できた人は、前後の人とも練習してみましょう。後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましょう。誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか?</p> <p>みなさん、よくできていました。</p>
--	--------------------------------------	---	---

<p>展 開 2 20 分</p>	<p>置き換え練習 ● 1 言ってみましょう。</p>	<p>● 1 言ってみましょう。 ★ 絵カードを見せながら、読ませるとよい。</p> <p>ゆっくりはっきりと発音する。 ★ リズムよく読めるように留意する。 ★ 絵カードを見せながら、発音させるとよい。</p> <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ 場面を理解して、感情を込めて読めるように留意する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。</p>	<p>では、本文1に出てきた“这是…吗？”を使った会話練習をしてみましょう。 まずは単語の確認をしましょう。 「スイカ」は中国語では何と言いますか。 — “xī guā” はい、よく出来ました。(ナシ、マントウも同様に)</p> <p>では発音の練習をしましょう。</p> <p>ペアワークをしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p>
<p>ま と め 5 分 挨拶</p>	<p>まとめ 21-22p をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>宿題提示と次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>まとめ 21-22p をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>宿題提示と次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>今日の宿題です。 22ページの2に出ているくだもの名前をどう発音するか考えてきてください。</p> <p>次の時間は「あれは何ですか。」という質問の仕方とそれに対する答え方を勉強します。</p> <p>“同学们，再见！” “老师，再见！”</p>

第4課 指導案

<板書例>

第4課 これはシューマイですか。

今日のテーマ

1. 中華料理の名前
2. “z” “c” “s” で始まる音
3. 指示代詞（これ）
4. 簡体字と日本語の漢字との違い

<宿題>

22～25ページに出てくる単語の意味を考え、発音の練習を宿題（予習）としてもよい。その場合、導入の段階で確認を行う。

第4課 指導案

全2時間の第2時間目 (22-p)

	項目	指導法と留意点	指示の例
導 入 5 分	挨拶・点呼	授業開始の挨拶をし、出席をとる。	“同学们好!” “老师好!” “请坐。现在要点名。”
	ウ ウォーミングアップ	宿題の確認 ★ 生徒を指名して、答えさせてもよい。 ゆっくりはっきりと発音する。	では、宿題の確認をしましょう。みなさん、忘れずにやってきましたか。 22ページを開けてください。2番でしたね。 6つのくだものがあります。それぞれどう読むでしょうか。 誰か発表してくれませんか。 はい、よくできました。 では、発音練習をしましょう。
	聞き取り練習 ● 2 CDを聞いて、聞こえた順番を()に書いてみましょう。	● 2 CDを聞いて、聞こえた順番を()に書いてみましょう。 教師用CD42を聴かせる。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 答えを確認する ★ 生徒を指名して発音させるのもよい。	それではくだもの名を中国語で順番に言っていきます。聞こえた順番を()に書いていきましょう。それではCDを流します。 みなさん、できましたか。それでは答えを確認をしましょう。
	簡体字の学習 ● 気をつけて書きましょう。	● 気をつけて書きましょう。(21p) 正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。 ★ 間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 “尝”(嘗)の1画目は真ん中から書くことに注意を向ける。 “瓜”(瓜)の3画目が日本語とは違うことに気づかせる。	教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “尝”をよく見ましょう。上の部分は、カタカナのツではありません。 「当たる」という字と同じように真ん中が1画目、それを挟んでカタカナのソのように書きます。 “瓜”は日本語と違って、3画目はまっすぐ下に伸ばした後、右上に跳ね上がります。日本語の「瓜」より1画少ないですね。
	本時の目標	本時の学習ポイントを簡単に紹介する。 ★ 指示代詞(あれ) ★ “什么”	それでは、今日の学習を始めましょう。 今回は遠くにあるものを指す“那”、第3課でも勉強した“什么”を使った表現を勉強します

<p>展 開 1 25 分</p>	<p>会話文2の練習 ● あれは何？</p>	<p>● あれは何？(23p) 会話の場面を紹介する。 イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。</p> <p>教師用CD43を流す。</p> <p>内容を確認する。 ★ “那”は「空間的に遠いもの」を指していることを確認させる。 ★ 既習の“什么”が、ここでは単独で目的語になっている疑問文であることを確認させる。 ★ “也”が重複を表す「～もまた」であることを確認させる。 ★ 指名して、日本語訳をさせるのもよい。 ★ 大まかな内容を把握できたか。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 ・ 寺本さんは手の届かないところにあるものを指して、何と言っていましたか。 ・ 李さんは何と答えていましたか。 ・ 寺本さんは次にどんな質問をしましたか。</p> <p>発音の練習をする。 ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像し、感情を込めて読めるように留意する。</p> <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ 2～3組に発表させてもよい。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。</p>	<p>23ページを見てください。 今回も寺本さんと李さんの会話です。 では、ふたりがどんな会話をしているのか聞いてみましょう。</p> <p>どうですか？どんな内容でしたか。 “那”ということばが出てきましたね。これは手の届かない距離にあるものを指して「それ」「あれ」という意味のことばです。 では“那是什么？”はどういう意味でしょうか。 第3課で“你叫什么名字？”という疑問文を勉強しましたね。“什么”は「何の」「どんな」という意味でしたね。ここでは「何」という意味です。 “这也是水饺吗？”はどういう意味ですか。</p> <p>では、意味を確認しましょう。 寺本「あれは何？」 李「(あれは)水ギョーザよ。」 寺本「これもまた水ギョーザですか？」 李「いいえ、これはワンタンよ。」</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p> <p>では、隣の人と対話練習してみましょう。役割を変えても練習しましょう。できた人は、前後の人とも練習してみましょう。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p>
--	----------------------------	--	--

<p>展 開 1 25 分</p>	<p>置き換え練習 ● 1 言ってみましょう。</p> <p>簡体字の学習 ● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>● 1 単語を入れて、対話してみましょう。(23p)</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 絵カードを見せながら、読ませるとよい。 ★ 生徒を指名して発音させるのもよい。 <p>ゆっくりはっきりと発音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 絵カードを見せながら、発音させるとよい。 ★ リズムよく読めるように留意する。 <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ 場面を理解して、感情を込めて読めるように留意する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。 <p>● 気をつけて書きましょう。(23p)</p> <p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 <p>“电”（電）1画目は真ん中からまっすぐ下に下ろすことに気付かせる。</p> <p>“脳”（腦）最後の1画の始まりが日本語とは違うことに気付かせる。</p>	<p>では、本文1と2に出てきた“这”と“那”を使った会話練習をしましょう。</p> <p>まずは単語の確認をしましょう。</p> <p>これは「ミカン」ですね。中国語で何と言いますか。 — “júzi”</p> <p>はい、よく出来ました。(他のことばも同様に)</p> <p>では発音の練習をしましょう。</p> <p>次に、会話の練習をしましょう。</p> <p>ペアワークをしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。</p> <p>後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。</p> <p>誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。</p> <p>“电”をよく見ましょう。雨冠を取っただけではありません。</p> <p>最後の1画は上につき抜けています。</p> <p>“脳”は日本語と違って、右上はカタカナのツではなく、鍋ぶたです。</p>
-----------------------------------	--	---	--

<p>展 開 2 15 分</p>	<p>練習御問題</p> <p>● 1 絵を見ながらCDを聞いて、中国語で答えましょう。</p> <p>● 2 絵を見て、日本語の意味に合うように下線部に中国語を書き入れ、会話を完成させましょう。</p>	<p>● 1 絵を見ながらCDを聞いて、中国語で答えましょう。イラストを手掛りに意味を推測させる。</p> <p>教師用CD 4 5を流す。 ★ CDが速ければ、教師がゆっくりはつきりと音読する。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>答えを確認する。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 1 这是烧卖。(这是什么?) 2 不是, 那是苹果。(那是梨吗?) 3 是, 这也是苹果。(这也是苹果吗?) 4 不是, 那是开口笑。(那是包子吗?)</p> <p>発音練習をする。 ★ 絵カードを提示しながら発音練習するのもよい。 ★ リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を理解しながら読むように留意する。</p> <p>● 2 絵を見て、日本語の意味に合うように下線部に中国語を書き入れ、会話を完成させましょう。</p> <p>★ 2人を指名して、答えさせる。下線部分を板書する。 ★ 日本語訳を口頭で済ませるのもよい。</p>	<p>24ページを開けてください。 1番。1～4の絵を見て、中国語の質問を聞いて答えましょう。それぞれ何の絵かわかりますか。 1は日本のものは、真ん中にグリーンピースがのっている食べ物ですね。2と3は手に何かをのせていますね。同じものですが、2は遠いところから、3は近いところから質問しているようです。 4は中華風揚げドーナツで、“开口笑”と言います。</p> <p>それではCDを聞いてみましょう。</p> <p>聞き取れましたか。 それでは答えを確認しましょう。 誰か発表してくれませんか。</p> <p>では、発音練習をしましょう。</p> <p>次は2番です。 日本語の意味に合うように、下線部に中国語を入れてみましょう。</p> <p>誰か発表してくれませんか。 答えを入れながらA、B 2人の会話をして下さい。</p> <p>はい、よく出来ました。</p>
-----------------------------------	--	---	--

<p>● 3 絵を見て、先生の質問に中国語で答えましょう。</p>	<p>● 3 絵を見て、先生の質問に中国語で答えましょう。</p> <p>意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 絵カードを提示しながら確認するのもよい。 ★ 簡体字も確認する。 <p>“黒” (黒) 3、4画目が「ツ」のようになり、日本語より1画多い “板” (板) 「反」の1画目が「ノ」 “図” (图) 国構えの中が「冬」 “課” (課) ごんべんが2画 “桌” (桌) 「ト」「日」「木」 “挂” (挂) 手へんに「圭」 “钟” (鐘) 金へんの省略に注意。つくりは「中」</p> <p>発音練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 絵カードを提示しながら発音練習するのもよい。 ★ リズムよく読めるように留意する。 <p>(出題例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 黒板を離れたところから指して(那是什么?) 2 地図を近くから指して(这是课程表吗?) 3 時間割を離れたところから指して(那是课程表吗?) 4 椅子を近くから指して(这是什么?) 5 時計を離れたところから指して(那是什么?) 6 本棚を近くから指して(这是桌子吗?) <p>答えを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 <p>(解答例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 那 / 这是黑板。 2 不是, 这 / 那是地图。 3 是, 那 / 这是课程表。 4 这 / 那是椅子。 5 那 / 这是挂钟。 6 不, 这 / 那是书架。 	<p>25ページを見てください。練習問題3番です。教室の中の様子が描かれています。まずイラストの下に書いてある単語の意味を確認しましょう。</p> <p>次に発音練習をしましょう。</p> <p>それでは質問をしますので、絵を見て答えましょう。</p> <p>それでは答えを確認しましょう。誰か発表してくれませんか?</p>
-----------------------------------	--	--

第4課 指導案

ま と め 5 分	まとめ 挨拶	まとめ 22-23p をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。 チェックリストを配布する。 宿題提示と次回の授業内容の予告をする。 授業終了の挨拶をする。	では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。 それでは第4課の達成度のチェックをしましょう。 今日の宿題です。 次回から第5課に入ります。26ページのキーワードを76ページを見て書きこんでください。 “同学们，再见！” “老师，再见！”
---------------------------	-------------------------------	--	---

<板書例>

第4課 これはシューマイですか？
今日のテーマ
1. 手の届かない距離にあるものを指す“那”
2. “什么”

<宿題>

次の課のキーワードと簡体字の書き方練習を、宿題（予習）としてもよい。その場合、次回の導入の段階で作業が
できているか確認を行う。